

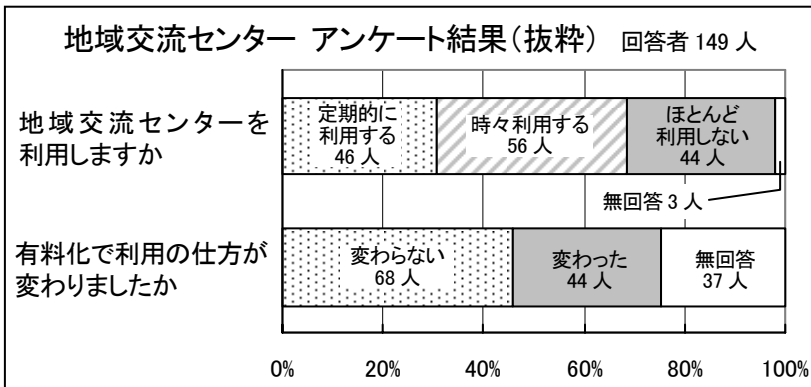
地域交流センターで市民力をアップ!

市内17ヶ所の公民館が、地域交流センターに移行して2年半がたちました。それまで社会教育法に基づき無料で使用していた多くの団体が有料になりました。そのため活動を止めたり、回数を減らした団体もあります。一方、使用料収入で、遅れていた修繕に手が付けられました。このようにメリットとデメリットが生じています。

アンケートを実施!

つくば・市民ネットワークでは、地域交流センターに関して色々な意見が寄せられたため、広く市民の声を把握しようと、7月に市内全域に新聞折り込みで配布した市民ネットワーク通信35号で紙上アンケートを行いました。

地域交流センターを定期的に利用する人は31%、時々利用する人と合わせると、68%の人が利用していました。



有料化で利用の仕方が変わった人は30%でした。要望(自由記述)で一番多かったのは「料金」に関するもの19%で、「以前のように無料にして欲しい」「値下げしてほしい」「PTAや子ども会くらいは無料に」「有料

化は地域の活性化の拠点という目的に逆行するのでは」などの意見がありました。その他に要望が多かったのは、「予約手続きを簡素化してほしい」等、手続きに関するもの13%と、「地域の人が気軽に利用できて、交流が増えるように」等の交流に関するもの11%でした。

助け合いの拠点に!

この夏、各交流センターが開催した利用者意見交換会でも、交流のきっかけとしてのサークル発表の場や、センター祭りなどについて話し合われました。センター祭りは地域の色々な活動が見える機会になるので、ぜひ進めてほしいと思います。

そもそも地域交流センターは、「地域の様々な課題を解決する地域活動を支援する施設」と位置付けられています。子育て支援、高齢者・障害

議員と一緒に話そう!会

テーマ：防災・交通・その他

11月11日(月) 11~12時 二の宮交流センター
11月15日(金) 10~12時 荃崎交流センター
11月17日(日) 14~16時 春日交流センター

議会の報告、身近な問題について話し合います。どなたでもお気軽にお越しください。

者支援、地域防災などの市民活動を、利用料免除などで支え、地域の拠点を使って自分たちで助け合って課題解決しよう、という市民の輪を拡げることこそ、地域交流センターの大きな役割ではないでしょうか。

地域の人々と行政が一緒になって、地域交流センターを地域の交流や助け合いの拠点として育てていけるよう、今後も活動していきます。

市民の声を活かし、安全な自転車のまちへ!



つくば市議会議員
文教福祉常任委員
宇野 信子

一般質問項目

- ・公共交通連携計画について
- ・自転車のまちつくば行動計画について
- ・地域交流センター計画について

市ではCO2削減などをめざし、自転車のまちつくば行動計画を進めています。市民には見えにくい状況です。

まず**条例づくり**について訊きました。『より安全な利用のための意識の啓発とルールづくり』を目的とし、『ワークショ

ップの開催などにより市民とともに議論し』条例化を図るとなっています。これまででは推進委員会の議論のみで進められてきました。そこで、**ワークショ**

向性や道路整備に活かすよう、一日も早い実施を要望しました。また『**照明施設の設置**』については、「要望が多いのは西大通と東大通だが、両方とも県道で、県に要望しているが難しい。隣接する研究所に設置協力をお願いしている」とのこと。

次に『自転車に関わる意見を常時受け付ける**りんりん目安箱**』の進捗について質問。「ITを活用した情報収集システムを検討中」との答弁でした。遊歩道での自転車走行や道路状況等、**広く現場の声を集め、条例の方**

最後に、メディアカルセンター周辺等に設置されている**青色の自転車レーン**について、設置場所の選定基準と設置前後の検証状況を質問しました。「検証はまだ行っていない。逆走、並走など危険な状況が見られるのでソフト面の対策を関係機関と協議したい」との答弁。



地域に放課後の子どもの居場所を!



つくば市議会議員
環境経済常任委員
皆川 幸枝

一般質問項目

- ・放課後の子どもの居場所について
- ・学校給食の質の確保について
- ・子どもへのメディアの影響について

「放課後、子どもを預ける所がない」「週に数日昼間だけ仕事をしているが、夏休みがとも大変」という、お母さんの声が多く聞かれます。

一般質問では市内の児童館の現状を訊きました。小学校数が37に対し、児童館数は18で、現在、児童館がない地域への児童館設置計画はありません。このような状況から、**放課後や長期休暇に居場所がない子どもたちが増えています**。

その対策として、全国的には

子ども達のために学校を解放し、居場所を作る取り組みとして「放課後子ども教室」が展開されています。すでに、全国1090の市町村で実施中です。

しかし、つくば市では、**各小学校で年に数回程度の実施にとどまっております、開催日数を拡大していくことが必要**と考えます。そのためには地域の方々の力が必要です。

ぜひ、得意な分野で子ども達に遊びや文化を継承し、安心な居場所を作っていきましょう。

放課後子ども教室

学びの場

体験の場

交流の場

遊びの場

学校施設を活用
余裕教室、グラウンド、
体育館等

参加・協力

コーディネーター

学校や関係機関との調整役

地域ボランティア
高齢者、
退職教員、
中高生、
大学生

文科省HP「放課後子どもプラン」より抜粋

備えあれば憂いなし、地域の防災体制づくり



つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長
北口ひとみ

一般質問項目

- ・市内防災（地域防災、放射線取扱施設の事故時の対応など）
- ・総合計画（市民意見の反映）
- ・ターミナルビルの運営

東日本大震災から二年半。防災への関心が高まり、あちこちで防災体制づくりが行われています。しかし、どの地域でも同様に備えができていくわけではありません。つくば市内の地域防災体制づくりについて質問しました。

市は「基本的に被災後三日間は自助・共助、公助はそれ以降で」との方針ですが、なかなか市民に知られていないのが現状です。

また、助け合いの核になる共同について、市は「各地域の自警団や自主防災組織を充実させる。区会単位の自主防災組織の結成・活動支援として上限十数万円で補助金交付を行う」との考えです。しかし現在、区会等が約600団体であるのに対し、自主防災組織は162団体で、**地域の防災力に不安が残ります。**

昨年より、東日本大震災の教訓から、小中学校では『地域との連携による学校の防災力強化』に取り組んでいます。また、つくば市の地域防災計画では、**各小中学校は避難所になるので地域の防災拠点として重要な位置づけです。**混乱なく開所・運営をするためには、様々な状況を想定し、模擬訓練をしておく必要があります。さらに、避難所を開設する際は、建物の安全確認は学校が行いますが、**開所後の運営は学校の先生ではなく、教育委員会の職員と地域住民で行う計画**になっており、関係者間での事前申し合わせが重要なポイントになります。

市の基本的な方針や計画、支援、また地域の防災体制づくりの必要性を市民が十分認識できるように着実な情報発信を行うよう要望しました。

守ろう!「緊急車両は最優先」

昨年11月、市内交差点で緊急車両に乗用車が衝突する事故がおきた。交差点通過にあたり緊急車両は万全の安全確認と注意義務を払い、最徐行をしていたところへ乗用車が突っ込んできたという事故だ。

保険会社から示された過失割合は9対1で、緊急車両にも1割の過失があるというものだった。

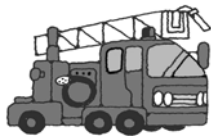
これに対し今議会に「この状況で緊急車両の過失が認められると、赤信号で交差点に入れなくなるなど業務上の支障が出かねない。司法の判断を仰ぎたい」と、訴訟を提起する議案が出され可決した。



本来、道路交通法で緊急自動車の優先が定められているが、全国的に同様の事故は増えてきているという。

消防車や救急車などが緊急出動中に事故にあうと人命救助ができなくなる。

“運転中、緊急車両は最優先”
今一度、心がけよう!



投票率のアップへ要望書提出!

市民の政治参加の第一歩が「選挙」だ。市民ネットでも選挙の度に投票の呼びかけをすすめてきたが、投票率はなかなか上がっていない。

選挙に行きやすい環境整備が必要と考え、以下の2点を選挙管理委員会へ要望した。

1. 投票時間を規定の午後8時までに戻す

以前の投票所は午後8時に終了していたが、昨年10月の選挙から午後7時まで短縮された。公職選挙法では特別の事情のある場合を除き「投票所は、午前7時に開き、午後8時に閉じる」となっている。

今年7月の参議院選では、つくば市の平均投票率は49.88%と低く、投票時間の最大限の確保が必要と考える。ちなみに牛久市、守谷市は午後8時までで55%台の投票率だった。

2. 投票所の配置の検討を行う

TX 開通やマンション建設による人口分布の変化に、投票所配置がマッチしていないと思われるため、投票所設置場所の再検討が必要である。



傍聴席から

みんなで行こう、
つくば市議会劇場

議会最終日を見てきました。始まってしばらくは、今議会中に話し合われて、決まったことの報告が続きます。日常生活では決して耳にすることのない“議会用語”ばかりで眠くなる…。でも初めて来た時よりは、用語の意味や議会の流れがわかってきて、面白くなってきたかな。

そしてやっと、採決に入りました。最終日の採決は議会の総決算。採決を取る前に、賛成反対の発言ができるのですが、意見の応酬が繰り広げられると、各議員個人の価値観や感受性が表れてきて、ますます面白くなっていく。しかし手を挙げて発言するのはいつも同じ議員なのが気になるなあ。市議会劇場、最大の見せ場なのに。

限られたお金をどう使うか、誰が辛い思いをしていて、どのように助けられるのか。自分にも問いかけられました。自分とは全く違う意見を聞いて、怒りすら感じることもあるけれど、様々な意見をお互い表現できる健全な社会をありがたくも思う。

自分の席から朗々とヤジという名のコメントを飛ばすベテラン議員達も、せっかくなら手を挙げて述べて欲しいなあ。市民が聞きたい貴重な生の声だったりするし、ベテランの本音が“つくば市議会劇場”の千秋楽をもっと盛り上げるはず。あと、採決の時は、カウントしやすいように真っ直ぐしっかり立って下さいね。年4回の“定期公演”、楽しみにしています！(N. I)

つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 7/6 筑波大シンポジウム～公務員宿舍一斉廃止を考える～参加
- 7/7 「チェルノブイリ・フクシマから学ぶ、原発の危険」参加
- 7/9、8/20 議会活性化推進特別委員会出席(宇野)
- 7/10 遺伝子組み換え作物展示栽培中止要請書提出
- 7/12 ハツ場ダム茨城住民訴訟裁判傍聴
- 7/14 大豆畑トラストつくば種まき
「チェルノブイリ被爆から学ぶ内部被ばくと健康影響」参加
- 7/24 男女共同参画審議会出席(皆川)
ファシリティマネジメント学習会参加
- 7/26 遺伝子組換え作物圃場見学会参加
- 7/28 市民と議員の条例づくり交流会議 2013 参加
- 8/2 2013 学校給食全国集会参加
- 8/17 つくば市総合計画出前講座
- 8/20、22、23 議員と話そう会開催
- 8/24、25 自閉症カンファレンス NIPPON2013 参加
- 8/28 ダンボールコンポスト講習会開催
- 9/10～9/30 9月定例会議会(北口、宇野、皆川)
- 9/12 かるがもねっと研修・交流会参加
- 9/14 「福島第一原発事故による放射性物質汚染について」参加
「もう始まっています！地域エネルギー」参加
- 9/21 原発事故被害者の救済を求める全国集会 in 福島参加
- 9/22 福島、南相馬市周辺視察
- 9/26 「看取りの医者からの提案」参加

※自治基本条例を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城の定例会へも参加。
※テーマごとの部会活動の他、委員会・審議会、学習会等へも多数参加しています(詳細はHPをご覧ください)。

11/9、10 サイエンスコラボ2013へ

～科学と環境のフェスティバル～

11/9(土)・10(日)、カピオで「つくばサイエンスコラボ 2013」が開催されます。サイエンスコラボは科学フェスティバルと環境フェスティバル、3Eフォーラムの3つの統一イベントです。市民ネットごみ部会では“つくばをごみゼロのまちに”と、ダンボールコンポスト(ダンボールを使ったお手軽ごみ処理)と雑紙分別クイズを出展し、家庭でできる「ごみの削減方法」を紹介します。

「燃えるごみの中に約1/4も混入しているリサイクルできる紙類」、半分だけでも分別できれば、燃えるごみは10%減量できます。燃やしてしまうと灰になり、埋立ごみとして処分料も発生しますが、分別すれば紙類は有価物(資源)となります。ちなみに、平成24年度つくば市が回収した古紙類の売上げは約1469万円です。

新聞・チラシ、ダンボール、本・雑誌類以外でもリサイクルできる紙(雑紙)はたくさんあります。どのような紙類なら回収に出せるか、クイズ形式でわかりやすくお知らせします。ぜひ、市民ネットブースへおいでください。



原発とエネルギーを考えるフォーラム
福島は今 つくばの今
福島訪問と市内の放射線測定状況を報告します
11月18日(月) 10:00～12:30
小野川交流センター 入場無料
連絡先: tsukubahotnet@ybb.ne.jp TEL: 859-0264
主催: つくば・市民ネットワーク

上映会

世界が食べられなくなる日

「モンサントの不自然な食べもの」に続く、遺伝子組み換え食品の実態を追ったドキュメンタリー

2013年12月15日(日)

10:00～12:30(受付 9:30)

14:00～16:30(受付 13:30)

つくばサイエンス・インフォメーションセンター大会議室
入場料: 1000円(中高生 無料)

連絡先: sekai1215@aol.jp TEL: 859-0264

主催: 「世界が食べられなくなる日」上映実行委員会